

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年9月16日

施設名	香北青少年の家	所管課名	生涯学習課
-----	---------	------	-------

1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさと公社
指定期間	平成21年4月1日～24年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・食事の提供及び宿泊に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成21年度主催事業> 地域子ども交流会(1泊2日) 日帰りだよ！親子忍者大会体験 子どもフェスティバル いきいき合衆国で遊ぼう！(1泊2日) 集まれ！！未来の麵職人～ 日本の文化に親しもう おもしろ年賀状アート 日本の文化に親しもう クリスマスリース★門松Get！大作戦 日本の文化に親しもう 世界に一つのやきものを作ろう！ ナゾの生物、しばてん保護プロジェクト！ 子どもフェスティバル 忍者大会(1泊2日) 全8回 青年リーダー研修(前期・後期)</p>
施設内容	青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。 構造：本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡ 施設概要： 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員121名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km
職員体制	職員：所長1名 事務員1名 指導員4名 調理員4名 合計10名

2 収支の状況

		H20年度(決算)	H21年度(決算)	H22年度(予算)
収入	県支出金	34,184,000	35,437,000	35,437,000
	事業費収入	950,150	827,320	1,116,000
	使用料	2,250,310	2,515,830	2,250,000
	収入計 (a)	37,384,460	38,780,150	38,803,000
支出	事業費	1,020,385	1,115,380	1,205,000
	管理運営費	10,190,022	8,302,548	8,173,000
	人件費	22,250,700	25,119,530	25,435,000
	消費税	1,673,043	1,726,862	1,740,000
	支出計 (b)	35,134,150	36,264,320	36,553,000

3.利用実績

(1)宿泊者数

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均
人数	9,398	9,234	8,429	7,068	7,352	8,296

(2)利用団体数

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均
団体数	208	214	168	177	193	192

(3)利用者数

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均
人数	19,160	17,235	16,757	15,823	15,998	16,995

4業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○“みんなの笑顔と感動”をキーワードに、子どもたちが自分たちで目標や約束をつくり、安心できる環境の中で様々な“気づき”体験ができるようにプログラムを開発している。 ○ホームページのトップに忍者大会のPRをのせ、施設案内・活動プログラム・利用料金等をわかりやすく掲載し、閲覧数を伸ばした(1,601件増)。また、4月にパンフレットを各保育園・幼稚園・小・中・高等学校に配布しPR活動を行った。 ○主催事業である「忍者大会」後のフォローアップとして、参加者・保護者の方(492名)に、ふりかえりの言葉及び今後の利用についてのお願いの手紙を添えて、写真を送付している。 ○利用者に次回も利用したいと思っていただくために、“誰からも好感のもてる対応”“利用者への細かな目配り・気配り・手配り”“笑顔・テキパキ・誠実・スマートに・臨機応変に・勉強”をモットーに職員全員で取り組んでいる。 ○学校との連携を図るため、地元小学校のイベントに参加したり、新たに出張事業を行うなど今後の施設活用につなげる取り組みを前向きに行っている。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宿泊訓練では、利用者が「何を目的として」「何を求めているのか」を確認し、学校教員と施設指導員の役割分担や、どこまで指導員が指導するのか確認するための事前打ち合わせを2～3時間行っている。 ○利用団体(特にスポーツ団体の合宿)の要望に沿った、地元の新鮮・安全な食材を使用した食事を提供している。 ○部屋の割り振りや入浴時間の調整、食事メニュー、食事時間の変更など利用者の年齢や性別に応じて希望に添うことができるよう配慮を行っている。障害者や高齢者が宿泊する際には、バリアフリー化されている別館を貸し切りで使用できるよう配慮している。 ○利用者の要望に合ったプログラムを提供できるように、資質・指導力の向上を目指した研修(アドベンチャープログラム等)に職員を参加させている。 ○国の経済対策による臨時交付金を活用して、本館・別館屋根改修工事、トイレ改修工事、宿泊室エアコン購入等を実施した。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全の確保を第一として、青少年の宿泊・食事・研修・野外活動等を行っている。 ○ビーイング(自分たちが安心できる職場にするために自分ができること、されると嫌だなと思うことなどを書き出してもらおう)を行い、お互いを認め合う職場環境づくりに取り組んでいる。 ○衛生面では、清掃チェック表への記載、利用者への手洗い指導の徹底に取り組んでいる。特に平成21年度は新型インフルエンザの予防のため、県と連携をとり状況の把握に努めるとともに、玄関に消毒用アルコールを設置して手指の消毒を徹底した。 ○毎年同じ時期に利用している団体からの予約漏れがないか予約台帳にメモをつけることにより、予約漏れによるトラブルを防ぐように事務処理を改善した。

④利用実績	○平成20年度と比較して、宿泊者数は284人、利用団体数は16団体、利用者数は175人増加している。
⑤収支の状況	○平成20年度と比較して、使用料収入は266千円の増収となった。これは、宿泊者数、利用団体数、利用者数のすべてにおいて、増加したことが理由と考えられる。(宿泊料参考 中学生以下230円、青少年25歳未満400円、青少年以外790円) また、管理代行料は、予算額を全額執行した。 平成21年度予算額 35,437,000円
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>仕様書の内容を上回る取組みが行われており、優れた管理運営が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営の目的や取組をわかりやすく職員間に徹底するとともに、年度初めに一年間の目標を設定し、目標達成のための項目を具体的に掲げて取り組んでいる。 ・利用者と日程調整を行う中で、利用者の要望にそって休館日を22日開館した。 ・学校との連携や施設のアピールを兼ねて、地元小学校の住民とふれあうイベントに参加したり、出張事業に前向きに取り組んでいる。 ・高知工科大学生の協力を得て実施した平成21年度新規開発プログラム『ナゾの生物、しばてん保護プロジェクト』では、しばてんと環境問題をリンクさせ、自分たちで考えながら活動する中で環境への意識を深める“気づき”の場面を多く取り入れるなどプログラムの構成を工夫している。 ・ボランティアスタッフの積極的な呼びかけを行い、新規登録者を21名確保した。また、青少年リーダー研修を行い、ボランティアスタッフの資質・指導力の向上に取り組む、独自にボランティアの育成に努めている。 ・心理学をベースに論理的に構成された各プログラムの実施や目的や狙いを明確にした業務改善等、利用拡大・利用者サービス向上のための真摯な取組みが行われおり、高く評価できる。今後は、現在の高いレベルを保ちつつ、継続事業のマンネリ化防止や地域との連携など、組織のあるべき姿に向けて、さらに魅力を高めるための取組みを期待する。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの